

Kasama City



ANDREW

/ ABROAD /

アンドリュー アブロード

アメリカ、ウィスコンシン州出身の国際交流員
アンドリューが見た日本、笠間市。

| Vol.6 |

A Whole Year in Kasama!

文 | アンドリュー アイガル
問い合わせ | 市民活動課 (内線 133)

初

めて笠間市に来てから、あつという間に一年が経ちました。一年前、アメリカの空港で父と母に手を振りながら「行ってきます！」と言い、自分の人生がどう変わるのか分からず、笠間市に引っ越してきました。仕事の初日を振り返ると、道に迷って自転車で市役所を通り過ぎてしまい、到着後汗だくで市長に挨拶したことを思い出して笑ってしまいます。何も分からないところから、少しずつ笠間市とはどのようなところかを知り、更には、忘れられない胸に残る経験をしながら一年間を過ごすことができ、かけがえのない街となりました。

今まで数え切れないほどの思い出ができましたが、一番印象に残るのはおそらく昨年の「笠間のまつり」でしょう。最初はまつりを見に行くだけだと思っていたのですが、「いや、アンドリューも参加するよ」と言われてびっくりしました！最初は何をやるんだろうと気になっていましたが、まつりの当日になり、いな吉くんのような仮装とメイクで変身しました。外国人として、このような伝統衣装を着ることは不思議な感じがしましたが、我ながら似合っているなと思いました(笑)。

まつりが始まる直前に踊り方を教わり、頑張つて覚えしました。そして本番になると、ねぶたで盛り上がり、何百人に歓迎され、凄くドキドキしました。新しい同僚や市民の方たちと一緒に掛け声をかけながら踊りました。まだ慣れない地で、響く太鼓の音や、楽しんでいる子どもたち、美味しそうな食べものを売っている屋台など日本のまつりを味わうことができて嬉しかったです。この日、一緒に参加した人とは、今でも友達として共に過ごしています。この時の経験は楽しい思い出として残るでしょう。

笠間市でのさまざまな出会いや経験を通して、忘れられない一年を過ごすことができました。アメリカを発つ時、日本での生活がこのように楽しい冒険になるとは予想していませんでした。笠間市に来てから、素敵な思い出が沢山あり、うまく語れないほどの喜びを持っています。今年のまつりは中止になってしまいましたが、これからも皆さんと交流し、もっと笑い、楽しい思い出を作っていきたいと思っています！
これからよろしくね！

Andrew アンドリュー